

導入理由

- ・ **より確実に健康管理をして、ウイルス拡大を防止するため**
- ・ **上記の取組について、できるだけ保護者と職員の負担を少なく実施できるようにするため**

導入するアプリ



LEBER

リーバー

<https://www.leber.jp/school/>

健康観察アプリでできるようになること（保護者）

①検温の記録、欠席の連絡がこのアプリ1つでできる。

→用紙への記入や欠席する時のメール連絡が不要に

②これまでの記録がクラウドに残るので、体調の変化に気付きやすい

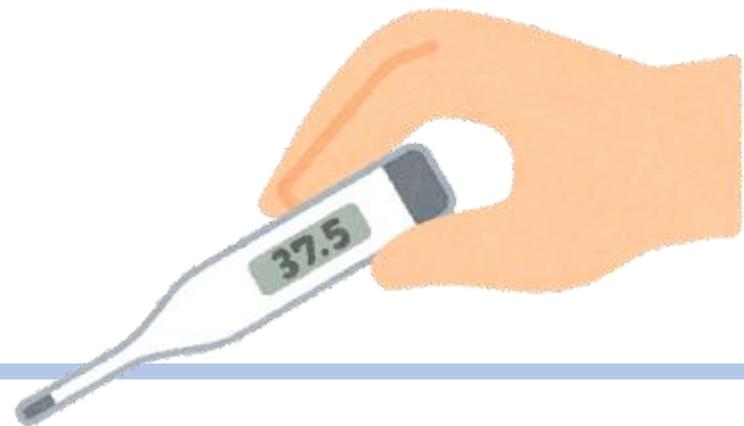
健康観察アプリでできるようになること（学校）

①クラスの児童の体温や体調、欠席や遅刻連絡が一目見て把握できる

→これまで用紙を集めて、チェック、返却していた作業が不要になり、その時間を別の対応にあてられる

②これまでの記録がクラウドに残るので、体調の変化に気付きやすい

健康観察アプリ 導入イメージ



毎朝、アプリ上でお子様の体温や体調について、また、出席するか欠席するかについて入力する。

(小学校にいるお子様の人数分、回答します)

→イメージとしては、昨年度まで実施していた検温チェックメールに近い感じです。

健康観察アプリ 導入するにあたって（費用）

児童・職員1人につき、毎月**11円**

→すでに徴収させていただいている、PTA会費から支出させていただきます。

健康観察アプリ 導入するにあたって（費用）

医師にアプリ上で健康相談ができるプランに入りたい方は、
毎月350円や550円のプランがあります

→こちらのプランを希望する方は、ご自身で個別にお金を払っていただくようになります。 **（あくまでもこちらは希望する方のみです）**

健康観察アプリ 導入までの流れ

9月1日（木）	アプリ登録の用紙配布
9月1日（木）～4日（日）	登録、設定
9月5日（月）～	運用開始

→アプリ設定で、うまくいかない場合やわからない場合は、直接、リーバー（029-896-6263）まで連絡してください。

（平日10時～18時のみですので、2日金曜日までの登録、設定をオススメします）

去年までやっていた、体温チェックメールが1学期になくなって、
「よかったー」と思っていたのに、また同じようなシステムを
復活するのはなぜ??
負担が増えるように思えるんだけど・・・。



Q&A 負担が増えるのでは？

おっしゃるとおりです。

1学期は、陽性者の数も少なくなってきたこともあり、保護者の方の毎朝の負担を軽減させる目的で、以下の2点について簡素化して対応していました。

- ・ 昨年度までやっていた、毎朝の「検温したかどうかの確認」メール（要返信）**
- ・ 健康観察表の保護者の捺印欄の廃止**

Q&A 負担が増えるのでは？

しかし、簡素化する一方で、徐々に「あれ？これ本当に（家で）検温したのかな？」というものや、体調不良なのに登校してきた、というような事例が出てきました。

夏休み後の学級内感染が懸念される中、より確実な対応をしなければならぬのですが、昨年度の取組をそのまま再現することは、保護者にも職員にも大きな負担となり、持続可能とはいえません。

そこで、今回は「アプリ」という形で対応をしようと考えました。

Q&A 負担が増えるのでは？

昨年度まで、、、

- ①検温チェックメールへの返信
- ②健康観察表の記入
- ③（欠席する場合は）学校への欠席連絡

2学期から、、

- ①リーダーでの体温や体調、出欠の入力のみ

Q&A 負担が増えるのでは？

**より確実な健康観察を、
より負担を少なくしていけたら、と、**

**今回の健康観察アプリの導入に踏み切ったということです。
毎朝、アプリへの入力しなければならないという手間が少し増える
のですが、ご理解いただけたら幸いです。**

コロナが治っても、このシステムは続けるの？



Q&A コロナが終わっても、続けるの？

結論から言えば「YES」です。

コロナだけではなく、冬になってくると「インフルエンザ」ウイルス対応もしなければなりません。今年度は、コロナとインフルエンザの2つ同時に備えないといけなくなる、という報道もあります。

実際に運用してみなければわからないところもありますが、使ってみて「すごく不便!」ということがない限り、しばらくは続けようと思います。

Q&A コロナが終わっても、続けるの？

プールの時期になったら「プールに入りますか」という項目も追加できるそうなので、そのために、また用紙に記入する必要はなくなります。

もしかしたら、私達大人が昭和の時代から行ってきた「休む場合は、連絡帳に書いて近くの児童にもってきてもらう」というシステムより、アプリで健康観察や出欠の連絡をする方が、今の時代やニーズにあっているのでは？という思いもあります。

導入、運用まで期間が短く、対応にお手数をおかけします。

みなさまのご理解とご協力を、

よろしく申し上げます。

